

日本薬学会第145年会 受賞者一覧

受賞名	在籍	学年(受賞時)	教室名・研究室名	氏名	演題名等	コメント※任意
学生優秀発表賞 (口頭発表の部)	薬学研究科	博士課程 1年	薬品化学教室	池川 馨	新規光酸化剤-ペプチド架橋体を用いた生体内マイオスタチン標的型光不活化	この度はこのような賞をいただき、大変光栄に思います。 筋肉増殖の負の調節因子マイオスタチンの阻害は、筋萎縮性疾患治療に繋がります。本研究では、独自開発の光酸化剤とマイオスタチン親和性ペプチドからなる架橋体を用い、内在性マイオスタチンの光酸化化に起因したマウス骨格筋量の増大を達成しました。 本研究の遂行にあたりご指導ご鞭撻を賜りました林良雄教授、谷口敦彦准教授をはじめとする関係者の皆様に心より御礼申し上げます。
	薬学研究科	博士課程 2年	免疫学教室	鈴木 健斗	真菌細胞壁 α -1,3-グルカン特異的高感度Sandwich ELISA様試験の開発	
	薬学研究科	博士課程 2年	薬物送達学教室	山口 泰暉	カチオン性オリゴマーを用いた遺伝子・核酸搭載ナノバブル調製とデリバリー能の評価	
	薬学研究科	博士課程 2年	薬品化学教室	村野 周子アンバー	SARS-CoV-2 3CLプロテアーゼを選択的に光酸化化する機能性分子の開発	この度、日本薬学会第145年會にて賞をいただいたことを大変光栄に思います。本研究では、皆様の記憶にも新しいSARS-CoV-2の複製に重要な役割を担う3CLプロテアーゼを光酸化化というユニークな方法で阻害する機能性分子の開発に成功しました。 本研究を行うにあたりご指導、ご鞭撻を賜りました林良雄教授、谷口敦彦准教授をはじめ、薬品化学教室の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。
	薬学研究科	博士課程 2年	薬物動態制御学教室	齊藤 直希	Auristatinsのリソソーム膜透過メカニズムの解明	
学生優秀発表賞 (ポスター発表の部)	薬学部	4年	薬品製造学教室	石坂 南夕那	イソクマリン環編集戦略を用いた多置換ベンゾチオフェンの選択的合成	この度、日本薬学会145年會において学生優秀発表賞をいただき大変嬉しく思います。初めての学会発表にも関わらずこのような賞をいただき、大変自信に繋がりました。これに慢心することなく、これからも精進してまいります。 本研究を行うにあたり、ご指導を賜りました松本隆司教授、矢内光准教授をはじめとする薬品製造学教室の皆様に、心よりお礼申し上げます。
	薬学部	5年	免疫学教室	鍋島 女依	被子植物花粉 β -グルカンの種間比較	この度、日本薬学会第145年會において学生優秀発表賞を賜り、大変光栄に存じます。心より感謝申し上げます。今回の受賞にあたりまして、ご指導いただきました安達禎之教授、菅野峻史助教をはじめ、免疫学教室の皆様に深く御礼申し上げます。
	薬学部	5年	衛生化学教室	北見 悠登	小型双方向物質移動デバイスを用いる、微量食物アレルギー検出法の確立	この度は、このような賞をいただき大変光栄です。本研究では3Dプリンターを用いて実際に小型デバイスを制作し、その機能評価を実施いたしました。本研究結果は食品溶液中の微量アレルギーをオンサイトで分析する手段確立の大きな一歩になると確信しております。研究を行うにあたり、終始ご指導賜りました衛生化学教室の早川磨紀男教授、藤野智史准教授、生体分析化学教室の東海林敦准教授、森岡和大講師をはじめとする両研究室の諸先生方並びに皆様に心より御礼申し上げます。
	薬学部	5年	分析化学教室	西原 光晟	超臨界流体クロマトグラフィーによる9-anthryldiazomethaneで誘導体化した極長鎖脂肪酸の分離	本研究では、超臨界流体クロマトグラフィーを用いて極長鎖脂肪酸の迅速かつ高感度な分析法を開発しました。極長鎖脂肪酸は生体内に存在しており、長鎖脂肪酸では代替できない重要な役割を担っています。この分析技術の確立が、将来的に医学及び薬学の発展に寄与し、多くの方々の健康増進に貢献できるよう、これからも挑戦を続けて参ります。
	薬学部	5年	分子細胞病態薬理学教室	菊池 菜生子	急性心筋梗塞後の心筋壊死におけるcaspase-11の役割	
	薬学部	5年	臨床微生物学教室	望月 さち	病院外来を受診したご瘡患者由来アクネ菌の薬剤感受性の動向と抗菌薬使用歴の解析	この度は上記の学会において名誉ある賞をいただきましたこと、大変光栄に思います。 抗菌薬を用いたご瘡治療では、アクネ菌に対する抗菌薬の不適切な使用に伴う薬剤耐性化による治療の難渋化が問題となっており、薬剤耐性株の出現には抗菌薬の選択圧が寄与すると考えられます。本研究では、病院外来を受診したご瘡患者から分離されたアクネ菌の各種薬剤感受性の動向及びその耐性機構の解析を行い、さらに、患者アンケートを用いて抗菌薬使用歴と各種薬剤耐性率の関連性を解析しました。 本研究の遂行及び発表するにあたり、ご指導ご鞭撻を賜りました、中南秀将教授、瀬山翔史助教をはじめ、臨床微生物学教室の皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。
	薬学部	5年	創薬基盤科学教室	杉浦 正浩	IgGモノクローナル抗体のイオン液体を用いた安定性・保存性の向上	
	薬学部	5年	個別化薬物治療学教室	福田 芽生	継代数の異なるヒト脳毛細血管内皮細胞を用いた <i>in vitro</i> 血液脳関門モデル機能変動に対するマネジメントアプローチの提案	
	薬学部	5年	個別化薬物治療学教室	山本 佳奈	階層スフェロイド型ヒト血液脳関門モデルを用いた環状ペプチドの脳移行特性評価	
	薬学部	5年	個別化薬物治療学教室	皆里 明日香	階層スフェロイド型ヒト不死化血液脳関門モデルは脳疾患における炎症反応を標的とした創薬研究に応用できる	
	薬学研究科	修士課程 2年 (2024年度修了)	機能形態学教室	水間 颯一郎	末梢神経髄鞘形成期におけるリン酸化L-MPZの生理的機能解析	学会は新たな知見を得て視野を広げる絶好の機会です。自信を持って自分の研究を発表し、多様な研究に触れて楽しんでください！
	薬学研究科	博士課程 3年	内分泌薬理学教室	吉田 佳乃子	ジヒドロオロト酸デヒドロゲナーゼはIRF1介在性IFITM2の誘導を介して胎盤栄養膜細胞の膜流動性を調節する	
	薬学研究科	博士課程 3年	病態生化学教室	松沼 真澄	マクロファージと基底膜構成分子ラミニンの相互作用	
薬学研究科	博士課程 3年	漢方資源応用学教室	吉澤 由佳	キンボウゲ科植物の化学成分(44) <i>Helleborus argutifolius</i> 全草から単離された化合物と細胞毒性について		